

Joie™

ジョイー・ブースター

i-chapp™

アイ-チャップ

取扱説明書 / 保証書

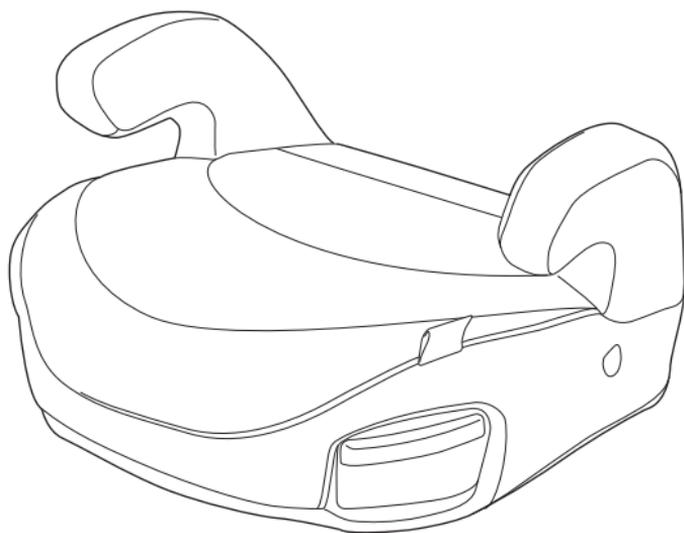
ECE R129/03 適合

適応身長 135cm-150cm まで

目安年齢 7 歳頃 - 12 歳頃まで



身長 135cm 未満のお子様
には使用できません

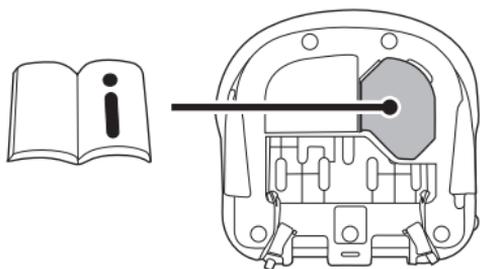


JP Welcome to Joie™

ジョイ・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するブースター(チャイルドシート)ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	4
チャイルドシート（ブースター）について	5
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	5
本製品の情報	6
緊急時の対応	6
表記の説明	7
内容物の確認	8
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	10
自動車の座席に関して	11
使用可能な座席の位置と向き	11
シートベルトの使用	12
使用できない座席	12
使用上の注意事項	14
組み立て	24
使いかた	29
カップホルダー	29
ポジションクリップの高さ調節	30
お子さまを乗せる	32
お手入れのしかた	42
ベースのカバーの取り外し	43
カバーのお手入れ	44
ベースのお手入れ	46
抗菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	46
保管のしかた	47
廃棄のしかた	47
保証書	50

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合する強化型チャイルド・レストレイント・システムです。

本製品は以下の条件のお子さまに使用していただける非一体型・ユニバーサル・強化型・チャイルドシート（ブースター）です。

適応身長 135cm-150cm まで

目安年齢 7 歳頃 -12 歳頃^{*}まで

※年齢は目安です。使用できるお子さまの条件はお子さまの身長により定められています。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシート（ブースター）をご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って正しい方法で使用してください。

正しい取り付け、正しい使用によってのみ、お子さまの死亡や重傷に至るリスクを軽減することができます。

チャイルドシート（ブースター）について

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシート（ブースター）の使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態時には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

1. 本製品は、強化型・チャイルド・レストレイント・システム（ブースター）です。
身長 135cm-150cm までのお子さまに使用することができます。
2. 本製品は、ECE R129/03 基準により認証されたチャイルドシート（ブースター）です。

本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

製品の種別	: ブースターシート
原材料	: プラスチック/金属/縫製品
パテント No.	: 特許出願中
適応身長	: 135cm-150cm まで
目安年齢	: 7 歳頃 -12 歳頃まで
使用方法	: 自動車の進行方向に対して前向きの座席に本製品を前向きにして設置して使用

緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、本製品の使用モードに応じて、あわてず自動車のシートベルトのバックルを操作してシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させ、直ちに応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、シートベルトに絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してシートベルトを切断して脱出させてください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

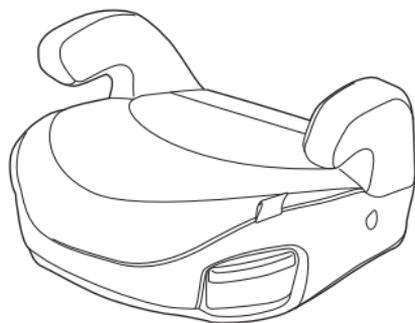
表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

内容物の確認

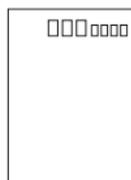
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



本書



ユーザー登録はがき



ポジションクリップ

⚠ 警告

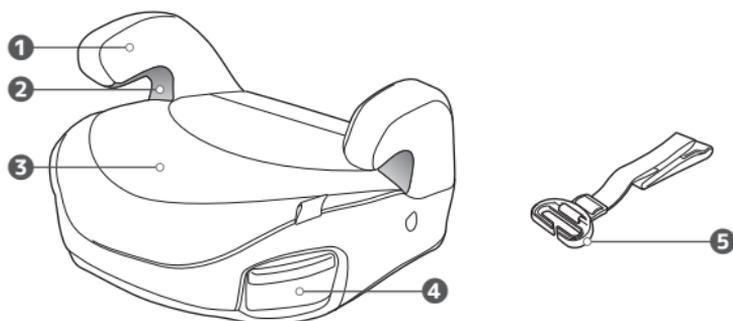
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

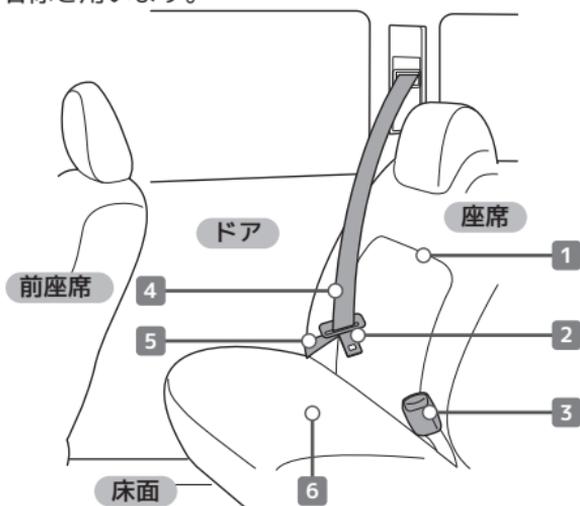


- ①アームレスト（左右） ③ベース ⑤ポジションクリップ
②腰ベルトパス（左右） ④カップホルダー（左右）

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

- ①（座席）背もたれ
●シートベルト
② シートタング
③ シートバックル
④ シート肩ベルト
⑤ シート腰ベルト
⑥（座席）座面



ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準（ECE R129/03）によって定められています。

この範囲にあてはまらない、または本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

適応身長 : 135cm-150cmまで

目安年齢* : 7歳頃-12歳頃まで

使用方法

本製品を前向きにして自動車の進行方向前向きの座席に設置の上、自動車のシートベルトを本書の指示に従って所定の方法でお子さまに装着させて使用します。

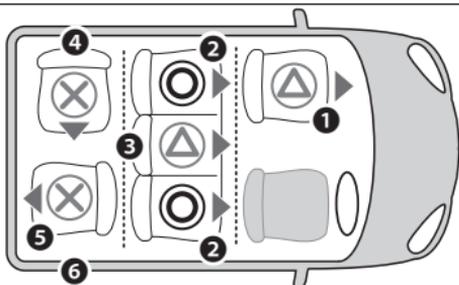


 身長 135cm 未満のお子さまには使用できません

※年齢は目安です。本製品の適合する基準により使用可能な条件は身長により規定されています。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 助手席 | △推奨しません※1 |
| ② 2列目左右ドア側席 | ○使用可能 |
| ③ 2列目中央席 | △使用可能※2 |
| ④ 進行方向に向かって横向きの座席 | ×使用不可 |
| ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 | ×使用不可 |
| ⑥ 3列目以降の座席 | △使用可能※3 |

※1：より安全な後部座席での使用をお勧めします / 適合車種一覧の調査対象外です

※2：中央席に関しては3点式シートベルトを装備した座席であれば使用できる可能性があります、適合車種一覧の調査対象外です

※3：3点式シートベルトを装備した座席であれば使用できる可能性があります、適合車種一覧の調査対象外です

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp



使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

本製品では、自動車の座席の3点式シートベルトを使用します。ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

使用できない座席

以下に記載されている座席では使用しないでください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式、4点式、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また、車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時も想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

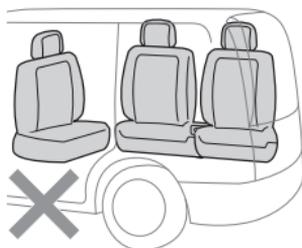
角度が異常になる座席や、座席やドアに干渉する座席

本製品取り付け時に本製品の角度が異常になる座席や、可動式の座席で動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では取り付け使用できません。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



その他、安定して設置できない座席や、作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、座面の形状が変化する座席など、安定して正常な状態で使用できない座席では使用しないでください。

自動車のドアの開閉操作や可動式座席の操作に干渉しないようにして使用すること

本製品を、ドアや可動式座席の動きに干渉する座席で使用すると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい使用状態に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品の操作中に移動する座席

お子さまへのシートベルトの装着などの操作中に移動する座席には取り付けないでください。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウイinkerなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品はより安全な後部座席での使用をお勧めいたします。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

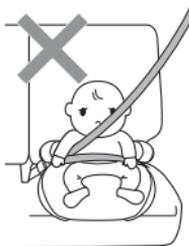
ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件を厳守すること

本製品は、適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できずに思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を使用する座席位置、設置場所に注意すること

設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

正しく使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、ならびに本製品を使用する自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に設置して使用してください。本製品を適切に使用しないと、急な方向転換、突如の停止、または転倒の際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ポジションクリップを正しく使用すること

本製品は、ポジションクリップによりシート肩ベルト（シートベルトの肩ベルト）の高さを適切に調節してシートベルトをお子さまに装着して使用します。ポジションクリップを使用しなかったり、誤って使用すると窒息や骨折などの重大な事故に繋がるおそれがあります。



ポジションクリップのベルトはゆるみやねじれの無い状態で使用すること

本製品は、ポジションクリップによってシート肩ベルトを適切な高さに調節して使用します。ポジションクリップをベースに接続するベルトにゆるみやねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での設置、固定、使用はしないでください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

取扱説明書は本製品と分離して保管しないこと

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしてください。本書は常に本製品底面の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。

体型が合わない場合は使用しないこと

原則として本製品は「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内であれば安全にご使用いただけますが、お子さまの体型等の状況によって、本書の指示に従って本製品を調節しても自動車のシートベルトを正しく装着できない場合は本製品を使用しないでください。

お子さまから目を離さないこと

どれだけ短い時間であっても、お子さまが本製品を使用している場合はお子さまから目を離さないでください。

⚠危険

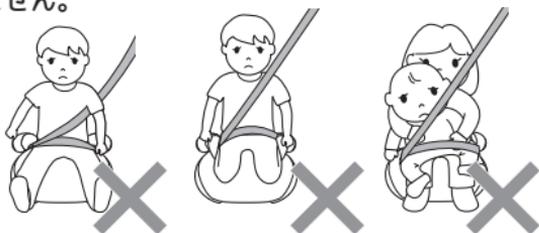
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、本製品を正しく使用し、お子さま安全にご配慮ください。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載内容に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



指定する方法以外での使用はしないこと

本製品は3点式シートベルトを使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のものを使用してはいけません。また、シートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。シートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、シートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタンク）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

シートベルトをゆるみなく装着すること

シートベルトをねじらないこと

おさまが装着するシートベルトにゆるみやねじれがあると、本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、シートベルトにゆるみやねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、バックルを留めて正しく使用してください。



お子さまを車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



シート腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際に、骨盤でしっかりと受け止めるため、シート腰ベルト（シートベルトの腰ベルト）はお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内蔵の損傷や、骨折の危険性が高まります。



前向き以外にして使用しないこと

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、前向きにして使用します。横向き、後ろ向きなど、前向き以外の状態にして使用してはいけません。

カバー類を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

⚠ 危険

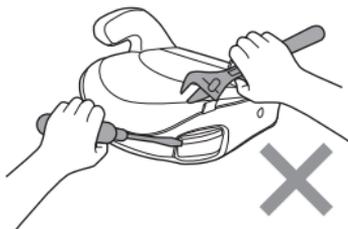
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取外した状態では使用しないこと
交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、カバー類を含めて指定外の部品への交換、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



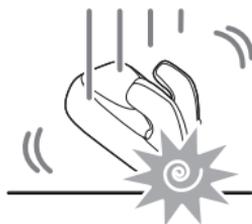
⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります、保証の対象外となります。

このような場合には、新しい製品をご購入いただく必要があります。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を動かないように適切な方法で固定するかトランクに収納するなどしておいてください。交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく使用することにより、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして、本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、毎回本製品が適正な状態にあるかどうか、必ず確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



走行中は本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートバックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがシートバックルに触れると、シートバックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまにはシートバックルに触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる着衣などを着せて本製品を使用しないでください。また、厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。

本書の指示にない荷重支持接点を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本書、本製品本体で指示されている荷重支持接点以外を使用しないでください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ブースター用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品やシートベルトに追加して使用しないでください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

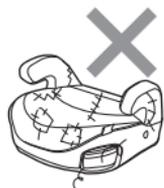
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



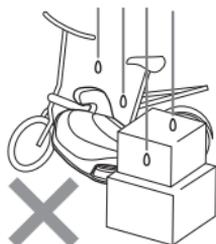
目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子を嵩上げる目的で使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠️ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車室内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、車室内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、ストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜お子さまを本製品から降ろして自由に動けるようにしてあげてください。また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。長期間使用しない場合、本製品は車外に出して日光の当たらない乾燥した場所で保管するようにしてください。

適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

販売店、チャイルドシートメーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

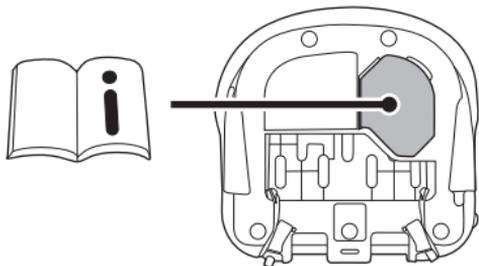
カップホルダーに熱い飲料を入れないこと

自動車の揺れや制動により、中身の飲料がこぼれ、ヤケドや汚損のおそれがあります。カップホルダーには、蓋をしたペットボトルなどの飲料を入れてください。

本書は本製品の所定の場所に収納して常時携行すること

必要なときにいつでも参照できるように本書は本製品底面の取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

重要



取扱説明書ホルダー

組み立て

最初に本製品を組み立てます。
ベースにポジションクリップを取り付けます。

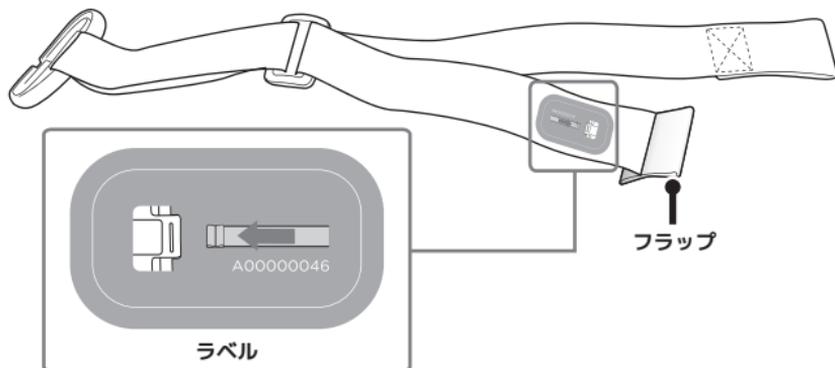
⚠危険

必ずポジションクリップを使用してください

本製品はポジションクリップによりシート肩ベルトの高さを適切に調節して使用します。ポジションクリップを使用せずに、直接シートベルトを着用するとシート肩ベルトが適切な位置を通らず大変に危険です。

01

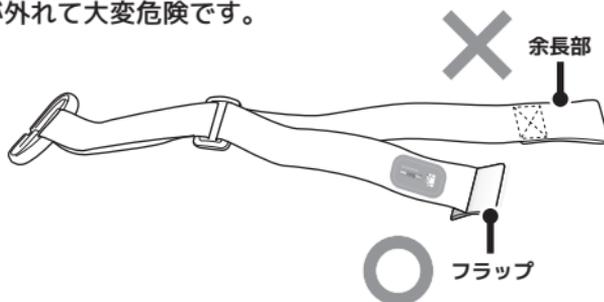
ポジションクリップのベルトをベースに差し込みます。
開くとT字状になるフラップがついている側（ラベルが縫い付けられています）のベルトをベースに差し込みますので、あらかじめ確認しておいてください。



⚠危険

必ずラベルが縫い付けられたフラップ側を差し込むこと

余長部側のベルトをベースに差し込んで使用すると、ポジションクリップのベルトが外れて大変危険です。



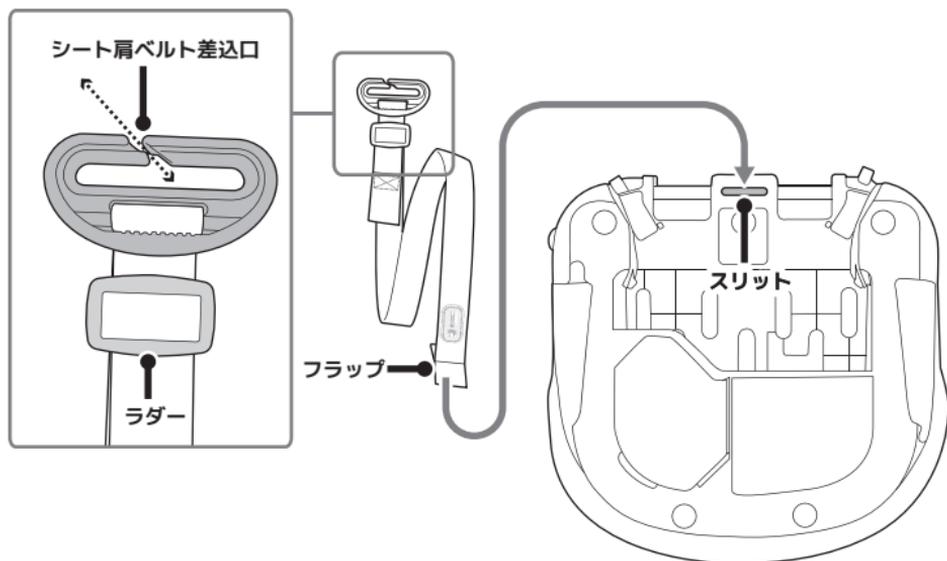
 **ポイント!**

フラップ側のベルトが短い状態だとベースへの差し込み操作が困難になります。あらかじめフラップ側のベルトを長く調節しておいてください。

参照 P30 ▶ポジションクリップの高さ調節▶位置を高くする場合

02

ベースの底面後端にあるスリットに、ポジションクリップのベルトのフラップを差し込みますので、あらかじめ位置と向きを確認しておいてください。ポジションクリップのシート肩ベルト差込口の向き（角度）とラダーの向きでベースのスリットへのポジションクリップのベルトの差し込む向きを確認します。下図の状態ですら差し込むと正しい向きになります。

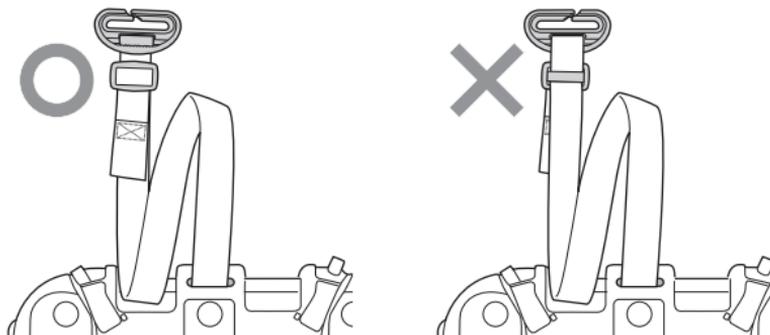


 **ポイント!**

ポジションクリップのベルトのフラップをスリットに差し込むと、**ポジションクリップのベルトの抜き取りが困難になります。** 差し込みの操作は、上図を確認して向きを間違えないように注意してください。

ポジションクリップを差し込む向きを間違えないこと

下図を参照して正しい向きで差し込んでください。向きを間違えるとお子さまの腰、背中にラダーがあたりケガをするおそれがあります。

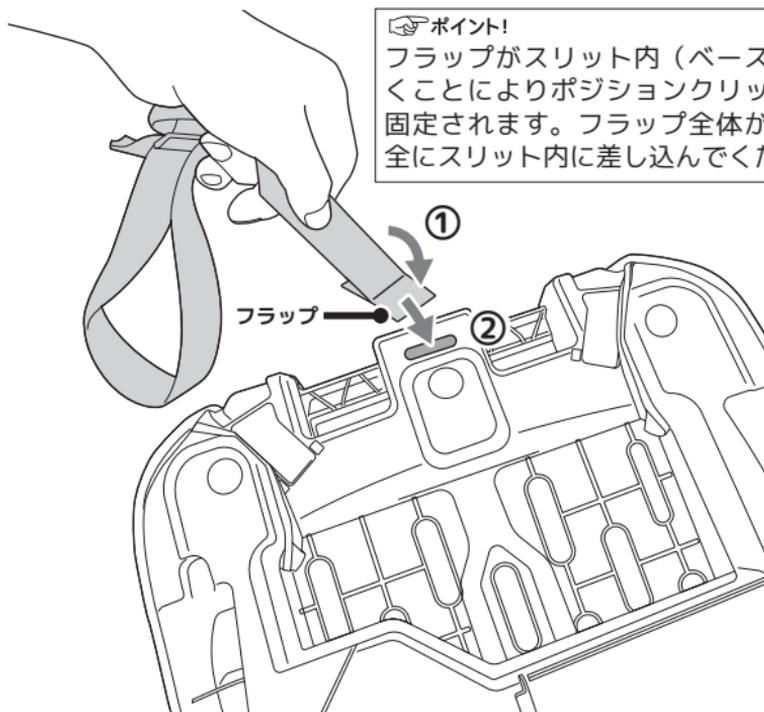


03

ポジションクリップの向きを確認して、ポジションクリップのベルト先端の①フラップを倒して、②フラップがスリット内で開くまでしっかりと差し込んでください。

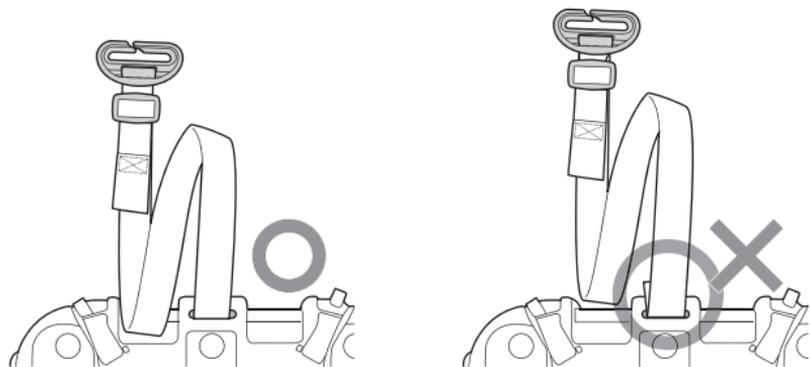
👉ポイント!

フラップがスリット内（ベースの内部）で開くことによりポジションクリップのベルトが固定されます。フラップ全体が隠れるまで完全にスリット内に差し込んでください。



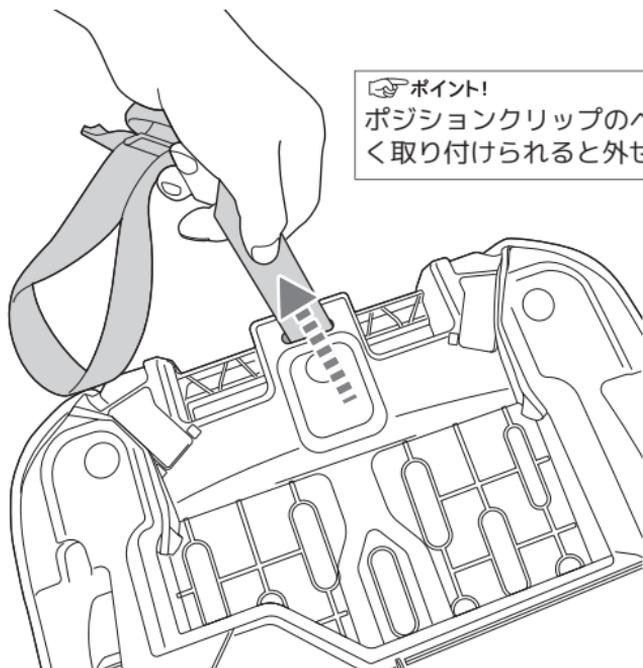
危険

ポジションクリップのフラップを確実にスリットに差し込むこと
フラップがスリット内に完全に差し込まれてベース内部で開いていないと、ポジションクリップのベルトが抜け、お子さまがシートベルトから飛び出すおそれがあります。



04

ポジションクリップのベルトを引いても、ベースから抜けないことを確認します。

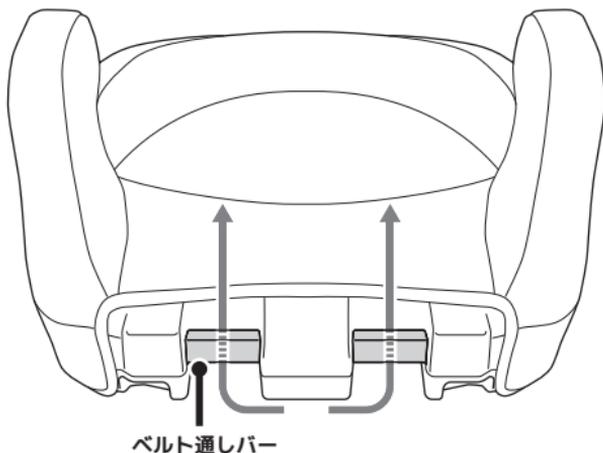


ポイント!

ポジションクリップのベルトは一度正しく取り付けられると外せなくなります。

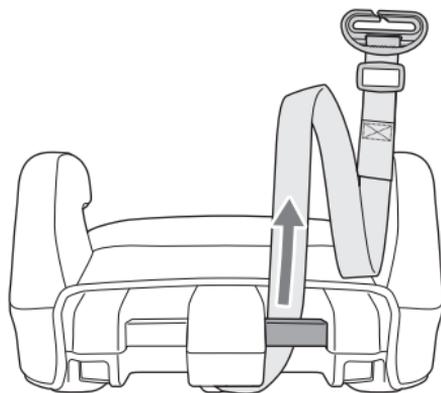
05

ポジションクリップをベース後部のベルト通しバーの内側に通します。ベルト通しバーは左右にあります。お子さまの着座する座席によって使用するベルト通しバーは異なります。

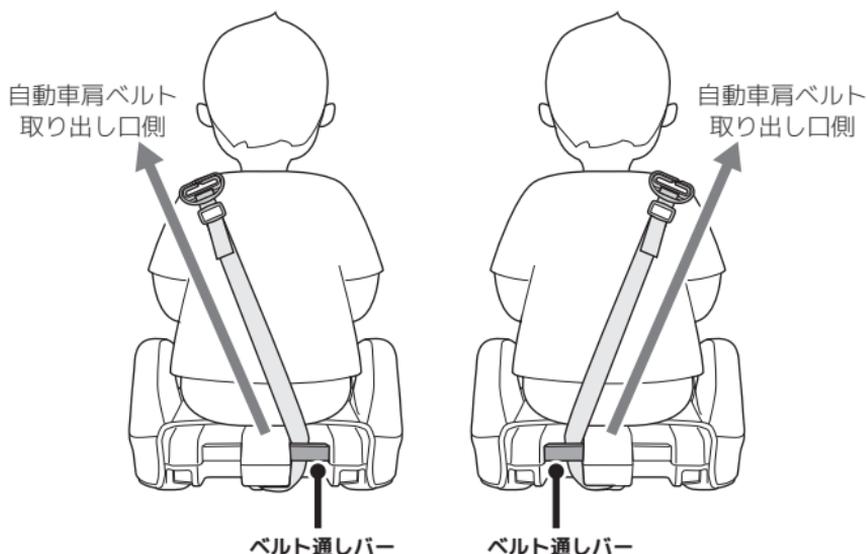


06

下図は、お子さまを正面から見て右側にシート肩ベルトの取り出し口がある場合（右ハンドル車の助手席後ろの座席など）の操作を図示しています。この場合、ベースを後ろからみて右側のベルト通しバーの内側にポジションクリップ（ベルト）を通します。



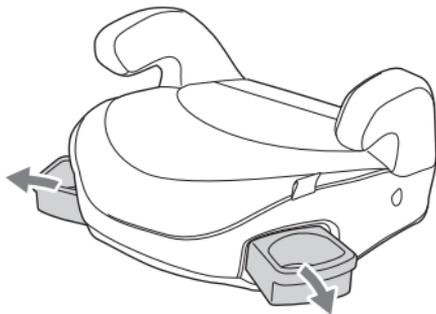
ポジションクリップを通すベルト通しバーの左右は以下を参照してください。シート肩ベルトの取り出し口側（お子さまの肩を通る側）と対角線上にあるベルト通しバーを使用します。



使いかた

カップホルダー

ベース先端左右には、引き出して使用するカップホルダーが内蔵されています。使用しない場合は、押し込んで収納しておいてください。特にドア側のカップホルダーを使用する場合は、ドアの開閉時の衝撃で内容物がこぼれるおそれがありますので、ご注意ください。



警告

熱い液体が入った容器などは入れないこと

お子さまがヤケドを負うおそれがあります。カップホルダーにはお子さまがヤケドをするような熱い飲み物などの液体の入った容器（カップなど）を入れないでください。

注意

内容物に注意すること

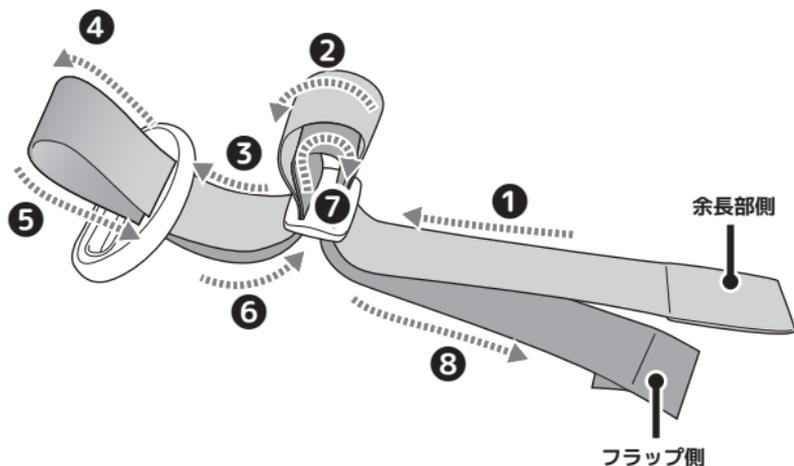
カップホルダーは、飲み物などの入った容器を差し込むために使用します。自動車の動きやお子さまの体動、行為によって、内容物が容器からあふれたり、こぼれたりすることがありますのであらかじめご了承ください。

ポジションクリップの高さ調節

本製品ではポジションクリップの高さを調節することによって、シート肩ベルトをお子さまの肩の位置に調節して使用します。

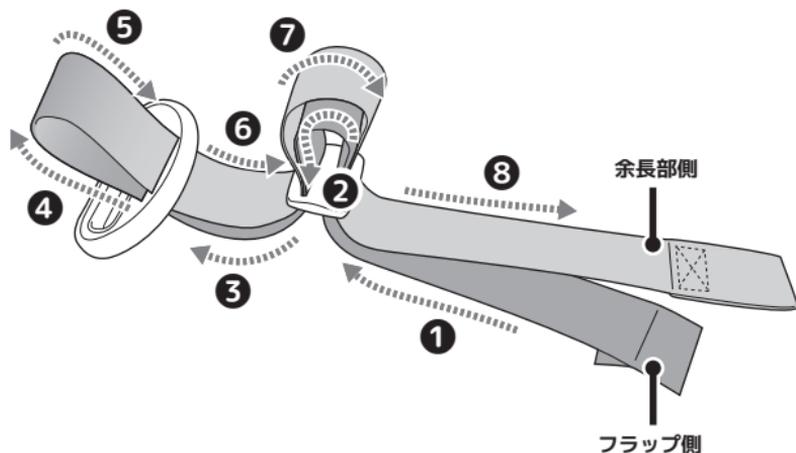
位置を高くする場合

余長部側のベルトを短くします（フラップ側のベルトを長くします）。
下図を参照して番号の順にベルトを送って調節します。



位置を低くする場合

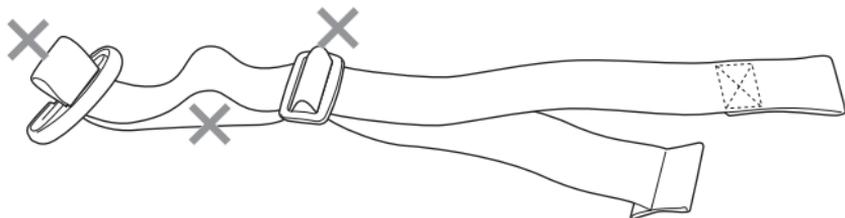
余長部側のベルトを長くします（フラップ側のベルトを短くします）。
下図を参照して番号の順にベルトを送って調節します。



⚠ 警告

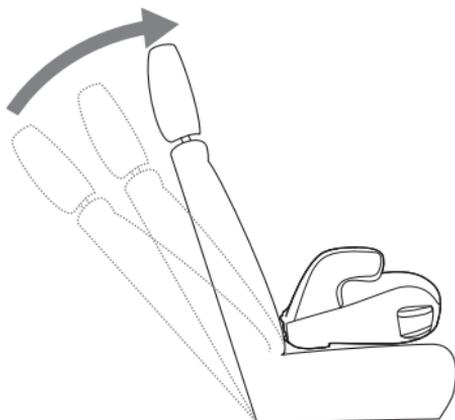
しっかりとベルトを引いてたるみを無くして使用すること

使用中にポジションクリップの位置が突然変わるなどして重大な事故につながるおそれがあります。ポジションクリップのベルトはしっかりと引いて調節し、ベルトが重なる部分、ポジションクリップの調節部、ラダーの調節部にゆるみや余長を残さないようにしてください。



お子さまを乗せる

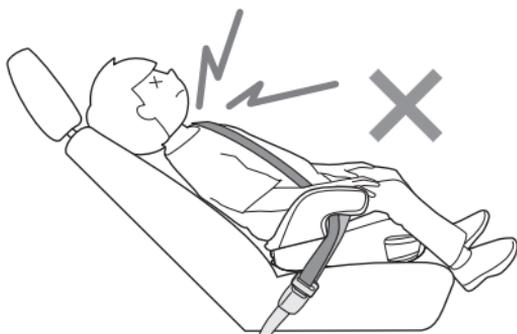
- 01**
本製品を使用する座席のシート背もたれが倒れている場合は起こします。
本製品は、シート背もたれを倒した状態では使用しないでください。



⚠危険

シート背もたれを倒した状態で使用しないこと

事故や衝撃を受けた際に、お子さまが飛び出したりシートベルトが絡まり、内臓に過剰な負担がかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。通常使用時においてもシート肩ベルト、シート腰ベルトが正しく機能せず大変危険ですので、シート背もたれを倒した状態では使用しないでください。



02

ポジションクリップが本製品を使用する座席の位置（シート肩ベルトの取り出し口）に適したベルト通しバーの内側を通っていることを確認してください。左右逆のベルト通しバーの内側を通っている場合は、ポジションクリップを通し直してください。

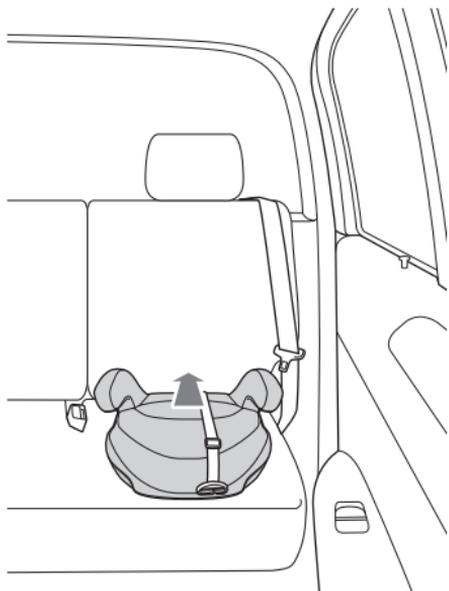
参照 P28-29 ▶組み立て▶06

👉ポイント!

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの座席（シート肩ベルトの取り出し口がお子さまの正面に向かって右側に位置する場合）で使用する場合を図示しています。

03

ベースを座席の左右中央に置き、シート背もたれ側に押し込んでおきます。ベースの後部がシート背もたれに接するようにしてください。



⚠️注意

ベースでシートバックル等を敷かないように注意してください

シート座面の上に何も乗っていないことを確認してください。シートベルト、シートタング、シートバックル、ポジションクリップなどをベースで敷かないように注意してください。

04

ポジションクリップの上に座らないように注意して、お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてベースに座らせます。腰を深くして、シートの座面中央に座らせてください。

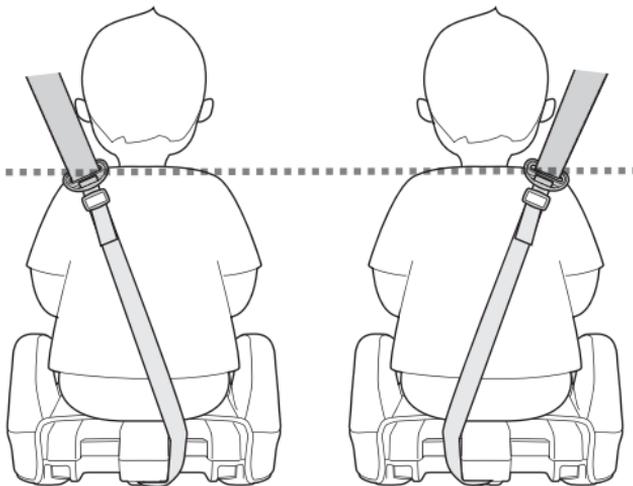


05

ポジションクリップに自動車肩ベルトを通します。適切な高さになるよう、ポジションクリップの長さ（高さ）を調節します。

参照 P30-31 ▶ポジションクリップの高さ調節

ポジションクリップは、お子さまの肩の一番高い部分と同じ高さに調節します。



06

シートベルトをねじらないように注意して、①シートバックル側の腰ベルトパスに肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスに腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。



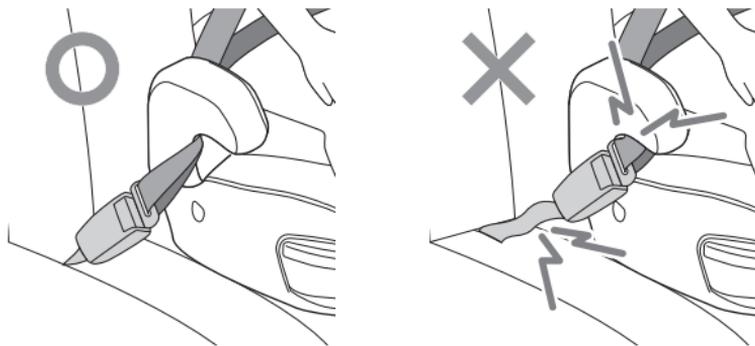
ポイント!

腰ベルトパスは、アームレスト下側の緑色の生地の部分です。

危険

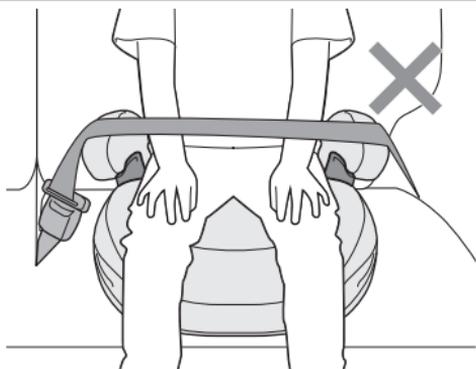
シートバックルが不適切な座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる、位置が前方過ぎるなどして、シートバックルが本製品の腰ベルトパスに干渉する場合、本製品を正しく使用できませんので、そのような座席では使用しないでください。



シート腰ベルトは腰ベルトパスを通すこと

腰ベルトパスは、アームレストの下側です。シート腰ベルトはアームレストの上を通さないでください。



07

シートベルトが正しく通っていることを確認してください。

以下を確認して1つでも正しくない場合は、もう一度シートベルトを装着しなおしてください。

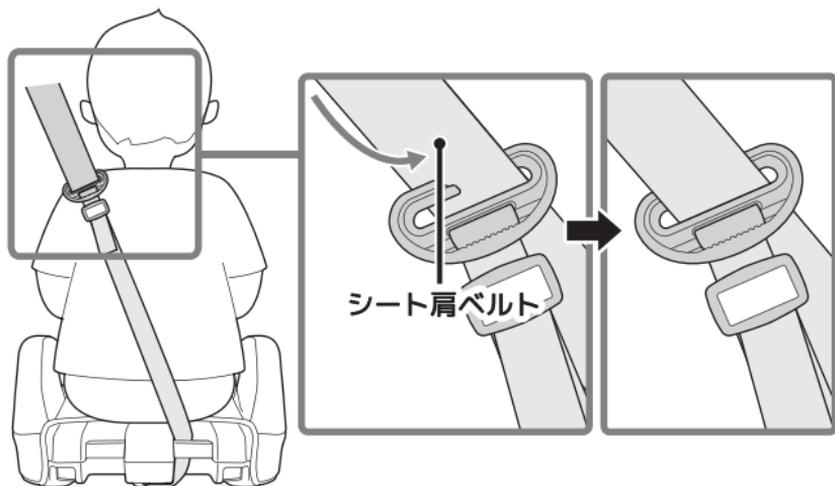


- シートベルトにねじれがないこと。
- 肩ベルト、腰ベルトの両方が腰ベルトパスを通過していること。
- シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。

- シートベルトにねじれがないこと。
- 腰ベルトが腰ベルトパスを通過していること。

08

シート肩ベルトを、ねじらないように注意しながらポジションクリップの切り口に差し入れます。ポジションクリップの中にシート肩ベルトが完全に通るまで差し入れてください。



⚠ 危険

シート肩ベルトを正しくポジションクリップに通すこと

シート肩ベルトがポジションクリップに完全に通っていなかったり、ねじれたりしていると、使用中にシート肩ベルトが抜けて重大な事故につながるおそれがあります。

09

ポジションクリップにシート肩ベルトを通した状態で、もう一度、シート肩ベルトの高さと位置を確認します。ポジションクリップの高さが不適切な場合は、再度、ポジションクリップの長さを調節し、シート肩ベルトの位置を調節してください。

またシート肩ベルトが正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側や内側を通っている場合は、ポジションクリップの高さを調節するか、本製品の設置位置を微調整して正しい位置を通るようにします。



⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ポジションクリップの高さや位置、本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正しい高さ、正しい位置になるようにして使用してください。

10

①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。



警告

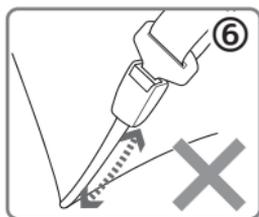
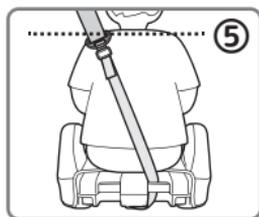
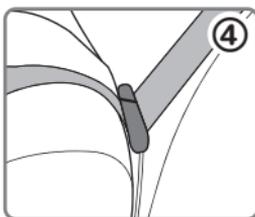
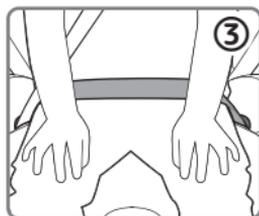
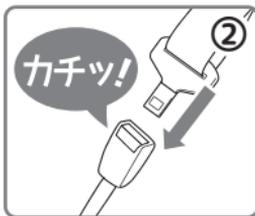
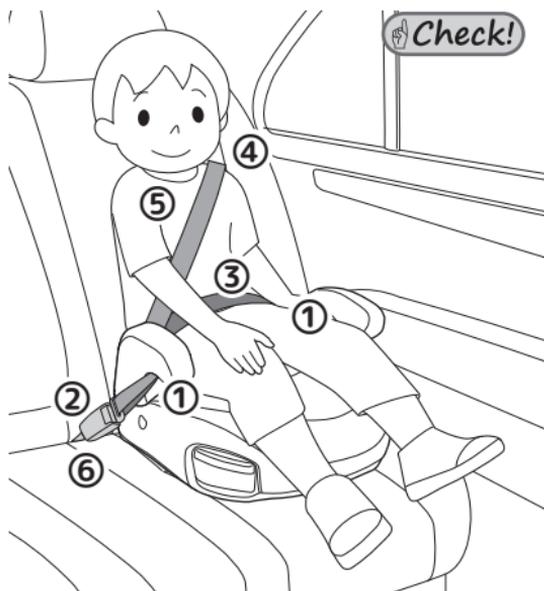
シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。

11

以下のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。



- ① 中央席側の腰ベルトパスに、シート肩ベルトとシート腰ベルトが通っていること。ドア側の腰ベルトパスに、シート腰ベルトが通っていること。
- ② シートバックルにシートタンクが確実に留まっていること。
- ③ シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
シート腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④ ポジションクリップがお子さまの身体から離れていないこと
シート肩ベルトのお子さまの肩を通る位置が適切な状態に調節されていること。
シート肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ⑤ ポジションクリップのベルトが、シート肩ベルトの取り出し口側と対角線上にあるベースのベルト通しバーの内側を通っていること。
- ⑥ シートバックルのベルトが長すぎる、位置が前方過ぎるなどして、シートバックルが本製品の腰ベルトパスに干渉する座席では使用しないこと。

12

お子さまにはシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。

お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。



警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくように言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。



ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、シート肩ベルト（ポジションクリップ）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

13

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外し、ポジションクリップからシート肩ベルトを抜いてお子さまを降ろしてください。

本製品は、シートベルトを装着していない状態では座席には固定されませんのでご注意ください。

⚠警告

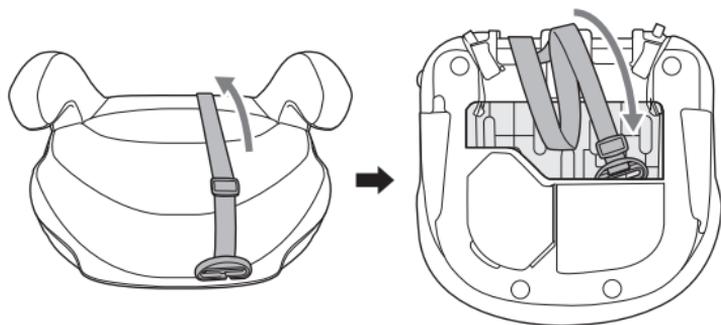
お子さまが乗っていない場合は注意してください

固定されていない本製品を車内に置くと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品をシートベルトで固定するなどして適当な方法で自動車内に固定しておくか、またはトランクに移動させるか車外に出すなどしてください。

14

お子さまが絡むなどの思わぬ事故や、破損につながるおそれがありますので、本製品を使用しないときはポジションクリップを本製品底面の空間に入れておいてください。



お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためベースのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

⚠警告

カバーを取り外した状態で使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバーを取り外して使用しないでください。

ベースに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。

カバーを外した状態の本製品、および取り外したカバーはお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

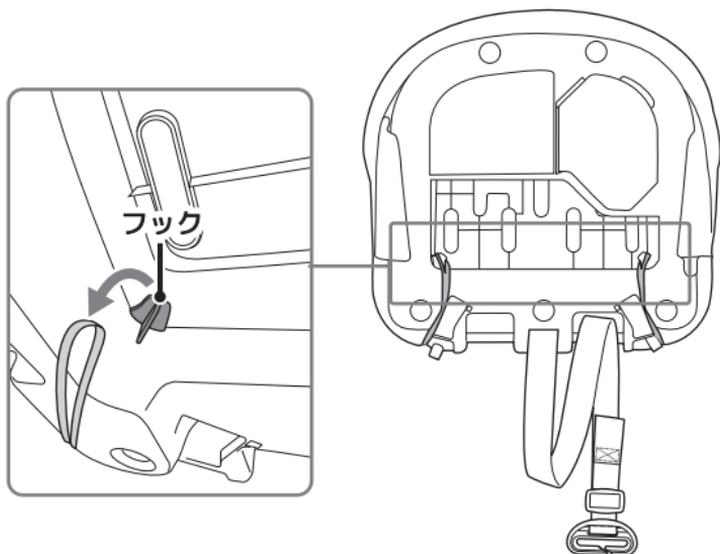
お手入れ等のため、カバーを外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

またカバーはお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

ベースのカバーの取り外し

01

ベースのカバーは、ベース裏面の左右にゴムバンドでフックに留められています。ゴムバンドを外してください。

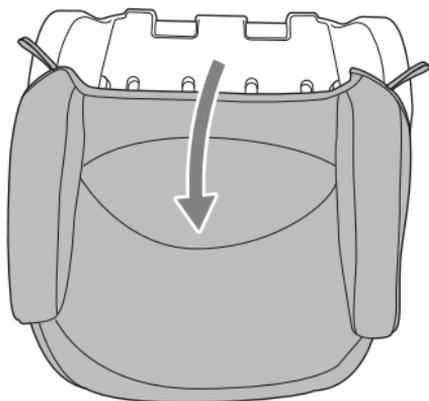


02

カバーを前方に抜き取ります。

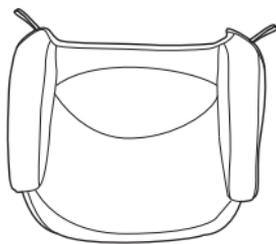
03

取り付けは逆の手順で行います。



カバーのお手入れ

取り外したベースのカバーは、以下の表示に従ってお手入れしてください。



⚠ 注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でカバーを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

👉 ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

以下を参照してお手入れしてください。カバーは、よく乾かしてから取り付けしてください。

① 液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量や機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30℃以下の水温で手洗いしてください。

② 漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ つり干しを推奨します

型崩れしないよう注意して、しっかりと開いて干してください。

⑤ アイロンは使用しないでください

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

ベース本体のお手入れ

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

注意

洗剤類、ウェットタオルの使用には注意してください

洗剤類、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきなどは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

直接水をかけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌、抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイ・ブースター アイ・チャップ		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	店名	
	〒	お買い上げ 販売店名	住所
	お名前		電話番号
	電話番号	-	-

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げ日いただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトーシ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトーシ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2309V00